



今回は、「全国学力・学習状況調査」についてです。

主体的に学び、考える力の育成

～「令和6年度 全国学力・学習状況調査」結果の活用～

「全国学力・学習状況調査」の調査問題には、**学習指導上、特に重視される点や身に付けるべき力がメッセージとして示されています。**ぜひ、自校の結果を分析・検証し、「**チーム学校**」で**授業改善**を進めましょう！

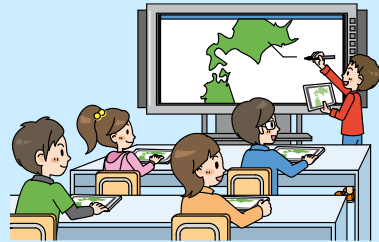
質問調査結果から

ポイント1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が重要

主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高く、自分で学び方を考え工夫している。

こんな授業をめざしましょう

- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む
- 学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現する
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表を行う



学力調査結果から

ポイント2 目的や意図に応じて、複数の資料を関連付け、自分の考えを形成することが重要

【国語】 事実と感想、意見との区別が明確でなく、自分の考えを伝えるための書き表し方の工夫に課題が見られる。

【算数・数学】 図形や単位量当たりの大きさについて、深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題が見られる。

くわしくはこちら **校内で共有！**

徳島県ホームページ

https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/page_20230207022015



国立教育政策研究所ホームページ

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>



➤ 授業アイデア例一覧

<https://www.nier.go.jp/jugyourei/r06/index.htm>

➤ 学習指導の改善・充実に向けて

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/setsumeikai/r06setsumeikai/index.html>



校内ミニ研修(例)

- (1) 自校の課題に応じて、調査問題を1問選び、みんなで挑戦する。
- (2) どのような力が必要か考え、話し合う。
- (3) 「報告書」等を読み、授業改善について協議する。

説明動画もアップされています。
(今年度いっぱい期間限定!)

